

帯畜大の研究学ぶ

ヒューマン
ネット十勝

異業種交流会「ヒューマンネット十勝」(どかち財団主催)が6日、帯広畜産大学で開かれた。企業や行政関係者ら約70人が参加し、マダニやドローンを使い



マダニ研究を紹介する
白藤助教

った草地更新などの研究内容を学んだ。

同大原虫病研究センターの白藤型可助教は、家畜や人などに寄生するマダニの研究を紹介した。ライム病などの病原体を媒介するマダニ撲滅には、媒介メカニズム解明が重要と強調。さらに、「研究用マダニを飼育し、国内マダニ研究の拠点形成を目指したい」と語った。

他にも、辻修教授がドローン空撮とGIS(地理情報システム)解析を用いた草地更新の研究、村田浩一

郎准教授が総合型地域スポーツクラブ「ちくたいKIP」について話題提供した。

同大の奥田潔学長は「大学の実情を見て楽しみ、関わりを強めてほしい」と話していた。

(池谷智仁)